

各関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察防除情報 第1号を下記のとおり発表します。

本年は、コムギの出穂が早く、防除適期が早まると予想されることから、特に現地での防除指導にご配慮願います。

## 令和3年度 病害虫発生予察防除情報 第1号

### コムギ 赤かび病の防除対策について

- 1 対象作物 コムギ  
2 病害虫名 赤かび病  
3 発生地域 県内全域

#### 4 麦類生育状況、気象予報について

(1) 県予察圃(加西市、11月18日播種)の「シロガネコムギ」の出穂期は4月5日で、リアルタイムアメダスを用いた麦の発育ステージ予測(農研機構、以下「ステージ予測」)より2日早くなった。以下の表に予想開花期を示しているが、予察圃では出穂が早くなったので現時点の予測よりも開花期が早まると考えられる。

一方、生産現地においても、圃場によって、出穂がばらついている場合があり、出穂が早くなった圃場では開花期がステージ予測より早くなることが予想される。

表 農林水産技術総合センター(病害虫防除所予察ほ、加西市)における麦の生育と開花期予測<sup>1)</sup>

品種名	播種期	出穂期		予想開花期 <sup>2)</sup>		
		本年	予測日 <sup>3)</sup>	開花始	開花期	開花盛期
シロガネコムギ (平年値)	11月18日	4月5日	4月7日 (4月21日)	4月20日	4月23日 (5月3日)	4月26日

1) 2) 3) 小麦赤かび病を適期に防除するための開花期予測システム(農研機構)による



写真 コムギ赤かび病. 左:乳熟期, 右:糊熟期

- (2) 大阪管区气象台(4月8日付)発表の近畿地方の1か月予報によると、天候は数日の周期で変わり、ある程度の降雨が見込まれる。気温については、2週目は平年並の確率50%、3週目以降は平年より高い確率40%であり、発病が多発する可能性がある。

## 5 発生生態・予想について

本病は、開花期～乳熟期頃から発生し、穂の一部または全部を褐変枯死させる。甚大な発生となった被害種子は白っぽい屑ムギとなり、収量や品質が低下し、かび毒による汚染を起こす恐れがある。

本病の発生(第一次感染)は、開花始期から10日間の降雨日数が多いと発病穂率が高くなり、またこの期間の日最低気温が高いと発病度が高くなると確認されている。本病が、最も感染しやすい時期は、開花期(約50%が開花)から開花盛期(約80%が開花)である(農研機構「麦類のかび毒汚染低減のための生産工程管理マニュアル改訂版」より)。

## 6 防除対策について

- (1) 薬剤によるコムギの防除適期は、開花始め～開花盛期である。本年は加西市における11月18日播種のシロガネコムギで開花始め～開花盛期が4月20日～26日頃と、平年より約10日早まると予想されている。圃場によってはさらに開花が早まる場合もある。出穂及び開花状況を圃場で把握し、遅れないように薬剤散布を行う。
- (2) 薬剤の治療効果はほとんど見込めないので発病前の予防散布が必要である。また、薬剤の残効期間もそれほど長くはないため、開花期に曇雨天が続く年には複数回の薬剤散布が必要である。
- (3) 防除薬剤については、兵庫県農薬情報システムを参考に選定し、農薬使用基準を遵守すること。  
兵庫県農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

\* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載 <http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222